

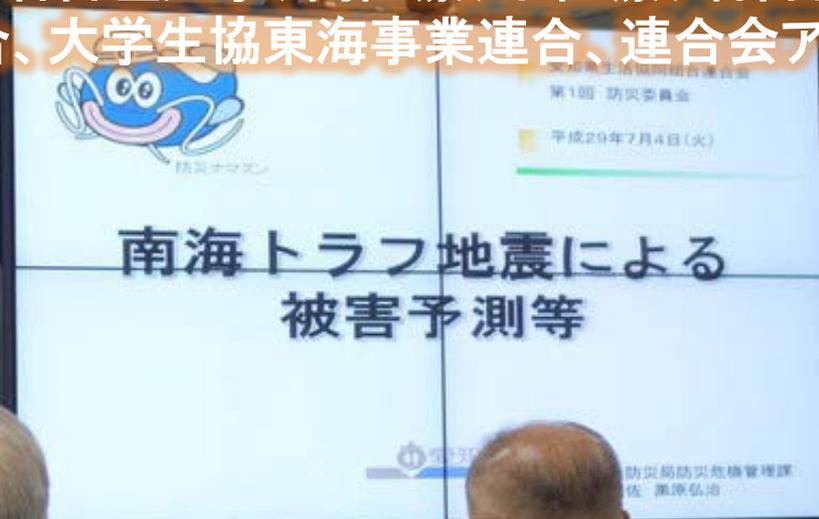
平成29年度 第1回防災委員会報告

◇日時 平成29年7月4日(火)

◇場所 愛知県自治センター(愛知県災害情報センター)

出席者 25名 (行政/愛知県防災局4名)

コープあいち、一宮、あいち、トヨタ、かりや愛知中央、愛知県職員、トヨタ車体
愛知県警察職員、オークマ、こじま、名古屋大学、南医療、北医療、名古屋
市民火災共済、東海コープ事業連合、大学生協東海事業連合、連合会アイ
チョイス、愛知県生協連



- ◆あいちの概要
- ◆愛知県の地域特性
- ◆南海トラフ地震の被害想定
- ◆愛知県の主な取り組み
- ◆熊本地震を踏まえた対策

愛知県防災局 黒原様

学習会 「南海トラフ地震による被害予測等」 防災局防災危機管理課



過去の震災の歴史から、南海トラフ地震の発生を予測・・・30年以内の可能性大



愛知県内の要注意地区(活断層)



愛知県内の地形と災害リスク
津波高潮被害と土砂災害地域

16 南海トラフ地震の被害想定 (平成26年5月公表)

今回の被害想定結果に対して、次の4つの対策項目が達成された場合の減災効果を推計した

- ◆ 建物の耐震化率100%の達成 (現状: 約85%)
- ◆ 家具等の転倒・落下防止対策実施率100%の達成 (現状: 50%)
- ◆ 全員が発災後すぐに避難開始
- ◆ 既存の津波避難ビルの有効活用 (津波避難ビル: 659棟)

項目	過去地震最大モデル		理論上最大モデル	
	対策前	対策後	対策前	対策後
全壊棟数	約47,000棟	約20,000棟 (約6割減)	約242,000棟	約103,000棟 (約6割減)
死者数	約6,400人	約1,200人 (約8割減)	約29,000人	約11,000人 (約6割減)
火災被害者等による死者	約2,400人	約700人 (約7割減)	約14,000人	約4,900人 (約7割減)
津波・津波による死者	約3,900人	約300人 (約9割減)	約13,000人	約3,500人 (約7割減)
自力脱出困難	約800人	約700人 (約1割減)	約5,500人	約1,500人 (約7割減)
津波からの逃げ遅れ	約3,100人	約2,000人 (約3割減)	約7,100人	約2,000人 (約7割減)

南海トラフ地震の被害想定
約5万棟全壊、死者数6,400人

防災委員会(自治センター4階大会議室)

報告・協議議題

- ◇防災委員会規則について
- ◇防災幹事会運営要領について
- ◇平成29年度防災委員登録名簿、幹事会委員について
- ◇防災活動平成28年度まとめと平成29年度活動計画(案)について
- ◇平成29年度愛知県・春日井市総合防災訓練参加について
- ◇愛知県との「災害時における応急物資供給等の協力に関する協定」について

